

**(仮称) 佐久都市計画道路1・4・1号南牧佐久線 環境影響評価準備書説明会
主な質問及びその回答**

【準備書に関すること】

質 問	回 答
・日照障害の予測評価結果に保全措置として採用する遮音壁や仮囲いは考慮されているのか？	・準備書では考慮されておりません。遮音壁の設置や詳細な構造及びその影響への対策は、事業実施段階において事業予定者が必要に応じて検討していくこととなります。
・井戸への影響は調査しているのか？	・個別の井戸については準備書では対象として調査・予測・評価はしておりません。事業実施段階において事業予定者が必要に応じて調査することとなります。
・融雪剤散布の影響は評価しているのか？	・準備書では対象として調査・予測・評価しておりません。融雪剤散布による周辺環境への影響については現在の知見において影響の予測、評価が困難であるため、事業実施段階において、事業予定者が必要に応じて検討していくこととなります。
・工事中道路の影響はどのように評価しているのか？	・工事中道路の位置や工事中車両の運行ルート、運行台数を想定し、工事中車両の運行による大気環境や工事中道路の設置に伴う動植物への影響を準備書にお示ししております。
・動植物の事後調査期間は？	・事後調査は事業予定者が工事前、工事中及び完成後に専門家等に意見を伺いながら調査項目毎、必要な期間の調査をしていくこととなります。
・湿地を回避できなかったのか？	・重要な湿地群については、可能な限り避けたルートとしており、生育環境に変化は生じない、または生育環境は保全されると予測しております。 ・ただし、道路構造上、回避できない湿地に重要な植物種が生育する場合には、工事中・供用後の監視や移植又は播種等の環境保全措置を講じることとなります。
・植物の保全措置において、移植や播種が想定通りに進まなかった場合は？	・移植又は播種を行う際には専門家等に意見を伺いながら保全措置を講じていくこととなります。

【ルート・構造に関すること】

質 問	回 答
・トンネル内部で車両火災が発生した場合への対策は？	・トンネル構造及び防災の詳細は事業実施段階において事業予定者が必要に応じて検討していくこととなります。
・(仮称) 野辺山インターチェンジの位置は変更できないのか？	・(仮称) 野辺山インターチェンジ付近の道路計画については、周辺の環境や地形を考慮するとともに、国道141号との交点にインターチェンジを設置することで土地の改変を最小限としているため、位置は妥当と考えております。
・南牧村長からの要望書にトンネル構造を求める記載はあるのか？	・平成30年4月25日に南牧村長から、国土交通省関東地方整備局長野国道事務所長及び長野県建設部道路建設課長宛にいただいた「中部横断自動車道 早期実現に関する要望(1kmルート帯に関する要望)」には記載はございません。

【手続に関すること】

質 問	回 答
・今後の手続きは山梨県と足並みを揃えて進めていくのか？	・山梨県と連携して、適切に手続きを進めてまいります。

【その他に関すること】

質 問	回 答
・トンネル部の土地などの権利関係はどうなるのか？	・道路構造の詳細は事業実施段階において事業予定者が検討していくこととなります。そのため、トンネル部の土地などの権利関係については、改めて事業予定者から権利者へ説明することとなります。
・除雪基地の計画はあるのか？	・除雪基地については、事業実施段階において事業予定者が検討していくこととなります。
・本区間は4車線で整備されるのか？	・都市計画は、4車線で決定します。 ・道路の整備方法については、事業実施段階において事業予定者が検討していくこととなります。
・本区間の開通見込みは？	・現時点では、開通の時期をお示しすることはできません。